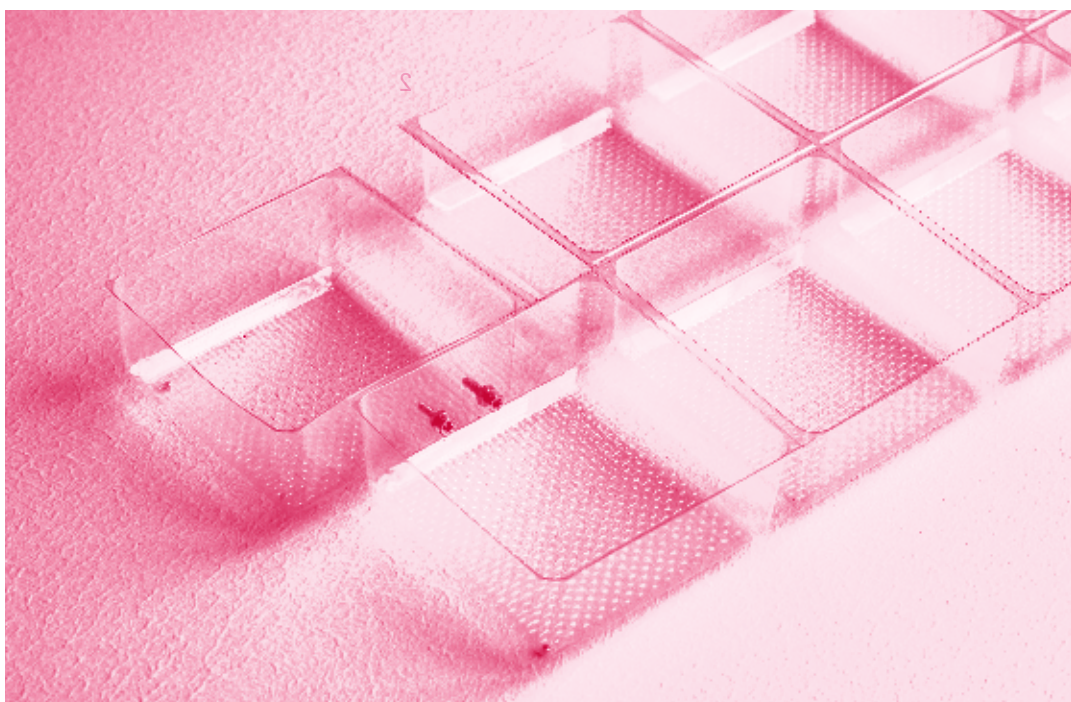




Toyota  
Municipal  
Museum  
of Art  
豊田市美術館



1.堀尾昭子《無題》2021年

# 枠と波

Frame and Wave

狗巻賢二

INUMAKI Kenji

ジルベルト・ゾリオ

Gilberto ZORIO

野村仁

NOMURA Hitoshi

アン・ハミルトン

Ann HAMILTON

櫃田伸也

HITSUDA Nobuya

ヨーゼフ・ボイス

Joseph BEUYS

アリギエロ・ボエッティ

Alighiero BOETTI

シャルロット・ポゼネンスケ

Charlotte POSENENSKE

堀尾昭子

HORIO Akiko

松澤宥

MATSUZAWA Yutaka

三木富雄

MIKI Tomio

2023/6/27 [火] — 9/24 [日]

休館日：月曜日 [7/17、8/14、9/18は開館] 開館時間：10:00-17:30 [入場は17:00まで]

豊田市美術館

Toyota Municipal Museum of Art

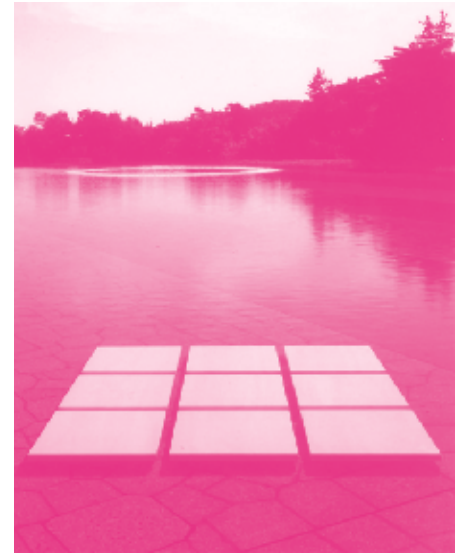
コレクション企画



2.ジルベルト・ゾリオ《言葉を純化するために》1969年 ©Gilberto ZORIO, 2023



3.シャルロット・ポゼネンスケ《単調なのは素敵》1968年 ©Courtesy the Estate of Charlotte Posenenske and Peter Roehr, Mehdi Chouakri Gallery and Take Ninagawa



4.松澤宥《白鳥の歌》2003年

コレクション企画

## 枠と波 Frame and Wave

観覧料:

一般500円[400円]、高大生400円[300円]

\*[ ]内は20名以上の団体料金

関連イベント:

担当学芸員によるギャラリートーク

7/8[土]、9/9[土] 15:30-

\*この他にも会期中に関連イベントを予定しております。

無料観覧日:

7/1[土]、7/2[日]

観覧料の減免対象者及び割引等について、また無料観覧日を含めたイベントの予定や詳細については最新情報を当館ウェブサイトにてご案内しております。



豊田市美術館

〒471-0034 愛知県豊田市小坂本町8丁目5番地1

TEL : 0565-34-6610

WEB : <https://www.museum.toyota.aichi.jp>

1960-70年代は、進む都市化によって周りの環境が目まぐるしく移ろい、社会の制度や枠組みも大きく変化した時代でした。写真や映像、音響の録音機器などが個人ユーザーにも届くようになったのもこのころです。そうした時代に美術作家たちは、たとえば車に乗って延々と続く高速道路を運転するときに開ける視界、日々目にするものをひたすらに写真に収めていく行為といった、あたらしくもすでに日常となった体験を作品へと接続していきます。あるいは、日常的に用いる文字や言葉を見つめ直し、口から発し、耳にする音を再考しようと試みました。本展では「枠と波」をキーワードに、当館の所蔵作家のなかから、おもに1960-70年代に言葉や音、日用品や身近な風景を取り込み、見ることや聴くこと、体験することや記憶することそのものを問い直した作家たちを紹介します。また、とりわけ、狗巻賢二、野村仁、堀尾昭子、松澤宥、櫃田伸也の5人の作家については、70年代以降の作品も織り交ぜて展示し、50年ほど前から今日につながる問題意識を探ります。

同時開催:

企画展 吹けば風

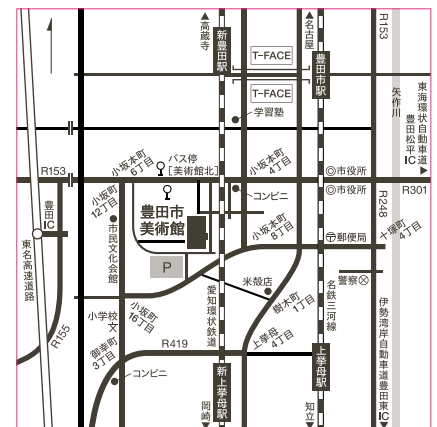
2023/6/27[火]-9/24[日]

次回開催:

フランク・ロイド・ライト

世界を結ぶ建築

2023/10/21[土]-12/24[日]



電車でお越しの場合:名鉄三河線豊田駅・愛知環状鉄道新豊田駅より徒歩15分/名鉄三河線上挙母駅・愛知環状鉄道新上挙母駅徒歩20分  
お車ご利用の場合:東名高速道路豊田ICより約15分/東海環状自動車道豊田松平ICより約15分/伊勢湾岸自動車道豊田東ICより約20分